シェアリング

1. シェアリングエコノミーとは

“インターネットを介して、使われていない資産を活用すること”が基本

そもそも「シェアリングエコノミー」とは何でしょうか？　空き部屋や空き家など、目に見えるものから料理やDIYの代行など目に見えないものまで、「個人が保有している遊休資産の貸出を仲介するサービス」を指します。また、こうしたサービスがインターネットを介して行われることも大きな特徴です。株式会社DeNAの原田氏は「使われていない資産、リソース（中略）を有効活用することで新しい価値を生むもの」と定義しています。

利用者にとっては、企業の仲介が減少し中間マージンが抑えられ、これまでより低料金でサービスやモノを手にすることができるようにな

次に企業側のメリットに関して、とくに注目が集まっているのはクラウドソーシングというシェアリングエコノミーの分野

ユーザーの信頼度をこれまでのオンライン活動履歴や既存サービスからスコア化するサービスも提供されています。

東京海上日動火災保険や損害保険ジャパン日本興亜はシェアリングサービスのプラットフォーム事業者を対象に保険を提供しています。

ガイアックスが考えるシェアリングエコノミーの4領域

モノのシェア（各種フリーマーケット・衣服などのファッション等）

場所のシェア（駐車場・会議室・民泊・ルームシェア等）

移動のシェア（カーシェアリング・ライドシェア等）

リソースのシェア（労働力・技術・お金等）

おもなシェアリングエコノミーサービス

* Airbnb
* DogVacay
* Lyft
* Feastly
* Taskrabbit
* UBER
* Spacemarket
* Akippa
* 軒先パーキング
* メルカリ
* ecbo cloak（エクボクローク）
* SCOUTER（スカウター）
* Crowd Realty（クラウドリアルティ）
* お寺ステイ(OTERA STAY)
* TimeTicket（タイムチケット）
* Any+Times（エニタイムズ）
* KitchHike（キッチハイク）

今まさに大転換期の入口に立っている

単純に「モノ」だけでなく、時間や労働力までシェアするというサービスは今後も増えていくのではないかと思います。

個人間で貸し借りや売買を行うCtoC、もしくはBtoBサービスを、“シェアリングエコノミーサービス”と呼び